

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

平成 26 年 2 月 18 日 午後用

第 65 回 獣 医 師 国 家 試 験 学 説 試 験 問 題 (B)

注 意 事 項

1. 試験問題は、80 問であり、解答時間は 2 時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを一つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1 問につき二つ以上解答した場合には、そのうちの 하나가正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問81 日本国で獣医師国家試験事務を受け持っている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

81 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☐ E 4 ☐ E 5 ☐のうち E 3 ☐を横線で、
81 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☐~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案の作成に当たっては、必ず HB の鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡が残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないので注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

問1 猫に投与すべきでない鎮痛薬はどれか。

1. ケトプロフェン
2. ロベナコキシブ
3. ブトルファノール
4. アセトアミノフェン
5. メロキシカム

問2 尿崩症の治療薬はどれか。

- a ジモルホラミン
- b デスマプレシン
- c ヒドロクロロチアジド
- d スピロノラクトン
- e メトホルミン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問3 消化管疾患治療薬の作用機序に関する記述として正しいのはどれか。

1. タンニン酸は消化管の μ オピオイド受容体を阻害する。
2. メトクロプラミドはドパミン D_2 受容体を活性化する。
3. ラクツロースは消化管粘膜で酵素によって分解されて作用する。
4. モサプリドクエン酸塩はセロトニン 4 受容体を活性化する。
5. 臭化ブチルスコポラミンは副交感神経を活性化する。

問4 強心薬に関する記述として正しいのはどれか。

- a ピモペンダンはトロポニンCのCa²⁺感受性を高める作用をもつ。
- b ジギトキシンはNa⁺-Ca²⁺交換機構に直接作用する。
- c アマリノンは細胞内でcGMPに変換されて作用する。
- d デノパミンはホスホジエステラーゼを阻害して強心作用を示す。
- e アミノフィリンは細胞内でcAMPを増加させる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問5 呼吸器疾患治療薬に関する記述として誤っているのはどれか。

- 1. 気管虚脱に鎮咳薬であるコデインを処方する。
- 2. 気管支炎に気管支拡張剤であるテルブタリンを処方する。
- 3. キサンチン誘導体は副作用として心機能亢進作用をもつ。
- 4. オザグレルはロイコトリエンD₄を合成阻害して気管支拡張を引き起こす。
- 5. 臭化イプラトロピウムは気管支を拡張し呼吸症状を改善する。

問6 肺炎に関する記述として正しいのはどれか。

- a 気管支肺炎は細気管支から始まり肺胞に波及する。
- b 間質性肺炎では肺胞上皮の変化は乏しい。
- c 肉芽腫性肺炎は肉芽組織の形成が特徴である。
- d 類脂質肺炎ではマクロファージが肺胞壁に充満している。
- e 線維素性肺炎では病変が肺葉全体に拡がりやすい。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問7 骨の疾患に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 骨粗鬆症では皮質骨および海綿骨で骨量が減少する。
2. くる病では関節軟骨に骨化異常が生じる。
3. 線維性骨異栄養症では破骨細胞性骨吸収が亢進する。
4. 牛のハイエナ病では成長板の早期閉鎖や断裂がみられる。
5. レッグ・ペルテス病では大腿骨頭の乏血性壊死がみられる。

問8 膜性腎症（膜性糸球体腎炎）に関する記述として正しいのはどれか。

1. 糸球体基底膜の分節性肥厚を特徴とする。
2. メサングウム細胞と基質の増加を特徴とする。
3. 糸球体係蹄で管内性細胞増殖がみられる。
4. 糸球体基底膜に免疫グロブリンが顆粒状に沈着する。
5. 過ヨウ素酸メセナミン銀染色で糸球体基底膜の二重化がみられる。

問9 アルテリウイルス属のウイルスによる疾患はどれか。

- a ラッサ熱
- b 馬ウイルス性動脈炎
- c 豚繁殖・呼吸障害症候群
- d アカバネ病
- e 豚水疱疹

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問10 ヌカカにより媒介される感染症はどれか。

- a 日本脳炎
- b アナプラズマ病
- c イバラキ病
- d アカバネ病
- e アフリカ豚コレラ

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問11 ヘルペスウイルス科に属するウイルスによる感染症はどれか。

- 1. ニューカッスル病
- 2. 伝染性喉頭気管炎
- 3. 伝染性気管支炎
- 4. 鶏白血病
- 5. 伝染性ファブリキウス嚢病

問12 偏性細胞内寄生性細菌による感染症はどれか。

- a 牛肺疫
- b ライム病
- c 野兎病
- d 日本紅斑熱
- e ツツガムシ病

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問13 乳房炎の原因として適切でないのはどれか。

1. *Streptococcus agalactiae*
2. *Mycoplasma bovis*
3. *Klebsiella pneumoniae*
4. *Yersinia enterocolitica*
5. *Staphylococcus aureus*

問14 牛海綿状脳症に関する記述として正しいのはどれか。

- a 脳幹部に炎症反応が認められる。
- b 潜伏期は4～5週間である。
- c 診断には *in situ* hybridization による核酸の検出が用いられる。
- d 迷走神経背側核と孤束核は組織病変の好発部位である。
- e 病原体の失活には2規定のNaOHが有効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問15 チュウザン病に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 牛、山羊、めん羊で発生が認められる。
2. 間欠性のでんかん様発作や旋回運動などの神経症状を示す。
3. 妊娠牛が感染すると妊娠後期に流産がみられる。
4. 胎子が感染すると水無脳症や小脳形成不全症候群となる。
5. 先天異常子牛の治療法はない。

問16 豚パルボウイルス病の鑑別疾患はどれか。

- a オーエスキー病
- b 豚インフルエンザ
- c 豚流行性下痢
- d 伝染性胃腸炎
- e 日本脳炎

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問17 終宿主に貧血を起こす寄生虫はどれか。

- a 有線条虫 (*Mesocestoides lineatus*)
- b クリプトスポリジウム (*Cryptosporidium parvum*)
- c 犬鉤虫 (*Ancylostoma caninum*)
- d 小型ピロプラズマ (*Theileria orientalis*)
- e 槍形吸虫 (*Dicrocoelium chinensis*)

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問18 条虫症に関する記述として最も適切なのはどれか。

1. 葉状条虫は馬の盲腸に寄生する。
2. マンソン裂頭条虫の第2中間宿主はマス類である。
3. 日本海裂頭条虫の駆虫にはイベルメクチンが有効である。
4. 有鉤条虫の幼虫による皮膚疾患を皮膚爬行症という。
5. 多包条虫の成虫による主症状は潰瘍性大腸炎である。

問19 主として水鳥の保護に関連する条約はどれか。

1. ウィーン条約
2. バーゼル条約
3. ロンドン・ダンピング条約
4. ラムサール条約
5. マーストリヒト条約

問20 放射能汚染に関連する記述として誤っているのはどれか。

1. 大気圏内核実験では ^{137}Cs や ^{90}Sr などの放射性降下物が確認される。
2. ^{131}I は特に乳幼児で問題になる放射性降下物である。
3. チェルノブイリ原子力発電所の事故では周辺地域の農畜産物が汚染された。
4. 放射性廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物に分類される。
5. 地球上における自然放射線の量は地域により異なっている。

問21 化学物質のリスク対策に関する記述として誤っているのはどれか。

(「化審法」：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律)

1. 「化審法」の第一種特定化学物質は輸入が禁止されている。
2. 「化審法」の第二種特定化学物質は製造量を届け出る義務がある。
3. 「化審法」で指定される化学物質に関しては環境生物への影響が評価される。
4. MSDS (SDS) 制度は化学製品供給業者が取扱業者に説明書を配布する制度である。
5. PRTR 制度は廃棄物排出者が有害化学物質の適正処理を確認する制度である。

問22 下水処理施設から公共水域へ処理水を放流する場合の水質基準項目はどれか。

- a 浮遊物質
- b BOD
- c COD
- d 溶存酸素
- e 硝酸性窒素および亜硝酸性窒素

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問23 「土壌の汚染に係る環境基準」に関する記述として正しいのはどれか。

- 1. 総水銀は「検出されないこと」とされている。
- 2. トリクロロエチレン等の有機溶剤は規制されていない。
- 3. 農用地においては米のカドミウム含有量も規定されている。
- 4. 六価クロムは農用地（田）に限って濃度が規定されている。
- 5. ダイオキシン類は「検出されないこと」とされている。

問24 国民衛生の動向を示す指標に関する記述として正しいのはどれか。

- a 年少人口とは14歳以下の人口をいう。
- b 老年人口とは60歳以上の人口をいう。
- c 計算上出生時の平均余命が常に最長となる。
- d 国勢調査の基準は該当年の4月1日である。
- e 国勢調査は5年ごとに実施される。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問25 牛乳製造において加熱殺菌の下限条件の指標となる病原体はどれか。

1. *Bacillus anthracis*
2. *Staphylococcus aureus*
3. *Coxiella burnetii*
4. *Brucella abortus*
5. *Salmonella Typhi*

問26 我が国のサルモネラ食中毒患者から分離されるサルモネラ菌の血清型で最も多いのはどれか。

1. Enteritidis
2. Typhimurium
3. Infantis
4. Choleraesuis
5. Thompson

問27 クリミア・コンゴ出血熱に関する記述として正しいのはどれか。

- a 一類感染症に分類されている。
- b 病原体はアレナウイルス科に属する。
- c 牛やめん羊では出血症状を示す。
- d ワクチンが使用されている。
- e 病原体はマダニ類によって媒介される。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問28 ウエストナイル熱に関する記述として正しいのはどれか。

- a 二類感染症に分類されている。
- b 病原体はフラビウイルス科に属する。
- c ヒトと馬では脳炎を発症する場合がある。
- d 感染環において豚が増幅動物となる。
- e 病原体は主としてシラミ類によって媒介される。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問29 猫ひっかき病に関する記述として適切なのはどれか。

- a 病原体はバルトネラ属に属するグラム陰性菌である。
- b 猫間の感染はノミによって媒介される。
- c 感染猫は興奮しやすくなる。
- d 予防にはワクチンが使用される。
- e ヒトでは発疹がみられる症例が多い。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問30 ライム病に関する記述として適切なのはどれか。

- a 病原体はスピロヘータ属に属する。
- b 西日本に患者が多発する。
- c 病原体はマダニによって媒介される。
- d 我が国の主な病原巣動物は野生げっ歯類である。
- e ヒトでは通常、重篤な下痢症状を伴う。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問31 HACCP システムに関する記述として正しいのはどれか。

- a 適正製造基準のことである。
- b 食品の流通、販売段階における衛生を管理する。
- c 危害を防除できる工程を選定し、その工程を重要管理点とする。
- d 管理下で製造した証拠を第三者に提示できることが利点である。
- e モニタリングは最終製品のみでおこなう。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問32 生卵に関する記述として正しいのはどれか。

- a ハウ単位は古くなると低下する。
- b 卵白係数は古くなると上昇する。
- c 卵黄係数は「卵黄の直径／卵白の直径」である。
- d 卵重は古くなると重くなる。
- e 比重は古くなると低下する。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問33 ある一時点における対象集団中の罹患動物数の割合を示す疫学指標はどれか。

- 1. 有病率
- 2. 発生率
- 3. 罹患率
- 4. 累積罹患率
- 5. 致命率

問34 乳牛の飼養衛生管理に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 初乳の給与は出生後 24 時間以降が望ましい。
2. 初乳の比重は γ -グロブリン濃度と相関する。
3. 泌乳期のボディコンディションスコアは 3～3.25 が望ましい。
4. 乾乳後期には濃厚飼料の給与量を徐々に増加する。
5. 乳房内感染により乳汁中の体細胞数は増加する。

問35 我が国の養鶏に関する記述として正しいのはどれか。

- a コマーシャル鶏の系統の大部分は国内で維持・管理されている。
- b ヘンデイ産卵率は導入当初の成鶏羽数に対する産卵個数の割合である。
- c ブロイラーは主にケージ飼いされる。
- d ビークトリミングの目的はカニバリズムや食羽を防ぐことである。
- e 換羽誘導の目的は産卵率の回復である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問36 牛の乳汁中の細胞数を評価する検査はどれか。

1. フォスファターゼテスト
2. セジメントテスト
3. CMT
4. DPD 法
5. TTC テスト

問37 移行抗体に関する記述として正しいのはどれか。

- a 牛では出生後の乳汁移行だけが母親の抗体を得る機会である。
- b 鶏の場合には卵黄を介して母親の抗体が雛に移行する。
- c 犬では胎盤移行によってのみ母親の抗体が子に移行する。
- d 初乳中にはIgMが多量に含まれている。
- e 母親からの移行抗体を得ることを獲得免疫という。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問38 我が国の養牛に関する記述として正しいのはどれか。

- a カーフハッチは肉用牛の肥育段階で用いられる。
- b 牛舎施設としてタイストールとフリーストールがある。
- c 肉用牛は通常18～35ヵ月齢でと畜場へ出荷する。
- d まき牛とは牧場に放たれる繁殖適期の雌牛のことを言う。
- e 2010年の乳用牛と肉用牛の総数はおよそ1,000万頭である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問39 我が国の養豚に関する記述として正しいのはどれか。

- a 多くの一貫経営農場で農場単位でのオールイン・オールアウトがおこなわれている。
- b オーエスキー病のワクチン抗体と野外抗体で識別できるものは現在存在しない。
- c 閉鎖型の無窓豚舎は用いられていない。
- d 2009年における飼養戸数は1961年に比べ減少した。
- e SPF豚はコマーシャル農場に導入されている。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問40 だちょうに関する記述として正しいのはどれか。

- a 「家畜伝染病予防法」により検疫の対象とされている。
- b 一般的な脚奇形は飛節症と脚のねじれの2つである。
- c ウイルス性腸炎による下痢が多い。
- d 肉は白身主体で高カロリーである。
- e アフリカンブラック種では年間200個の産卵がある。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問41 近位尿細管におけるグルコース、アミノ酸、リン酸の再吸収障害を特徴とする疾患はどれか。

- 1. クッシング症候群
- 2. 腎盂腎炎
- 3. シスチン尿症
- 4. ファンコーニ症候群
- 5. 尿崩症

問42 ダルメシアンで認められることが多い尿石の成分はどれか。

- 1. リン酸カルシウム
- 2. リン酸アンモニウムマグネシウム
- 3. 尿酸アンモニウム
- 4. シュウ酸カルシウム
- 5. シスチン

問43 犬で高カルシウム血症を伴いやすい疾患として適当でないのはどれか。

1. 慢性腎不全
2. ビタミン D 過剰症
3. 上皮小体機能亢進症
4. リンパ腫
5. 副腎皮質機能亢進症

問44 肝リピドーシスの猫に対して投与を避けるべき薬剤はどれか。

1. メトロニダゾール
2. S アデノシルメチオニン
3. ビタミン K
4. ビタミン E
5. ジアゼパム

問45 猫の上部気道感染症の原因ウイルスはどれか。

- a 猫ヘルペスウイルス
- b 猫コロナウイルス
- c 猫汎白血球減少症ウイルス
- d 猫白血病ウイルス
- e 猫カリシウイルス

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問46 逆くしゃみに関する記述として適切でないのはどれか。

1. 鼻咽頭の刺激によって起こる発作性の吸気運動である。
2. 上部呼吸器疾患による二次的な現象であることが多い。
3. 通常、小型犬種でみられる。
4. 発作は通常数分間持続する。
5. 重篤な呼吸障害を起こすことはない。

問47 犬で肺血栓塞栓症と関連が深い疾患はどれか。

- a 椎間板ヘルニア
- b 気管虚脱
- c 副腎皮質機能亢進症
- d 犬糸状虫症
- e 門脈体循環シャント

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問48 前房出血に関する記述として適切なのはどれか。

1. 緑内障を続発することがある。
2. 角膜からの出血が前房内に蓄積した状態である。
3. 前房穿刺による血液吸引が有効な治療法である。
4. 確定診断には超音波検査が必須である。
5. 視覚には影響しない。

問49 原発性上皮小体機能低下症の治療として適切なのはどれか。

- a カルシウムの投与
- b リン摂取量の制限
- c 生理食塩水の輸液
- d ループ利尿薬の投与
- e ビタミンDの投与

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問50 犬の甲状腺機能低下症の臨床所見として適切でないのはどれか。

- 1. 肥満
- 2. 高脂血症
- 3. 高血圧
- 4. 運動失調
- 5. 便秘

問51 犬の副腎皮質機能亢進症の治療薬として適切なのはどれか。

- a 酢酸フルドロコルチゾン
- b ミトタン (o,p'-DDD)
- c トリロスタン
- d チアマゾール (メチマゾール)
- e オクトレオチド (ソマトスタチン誘導体)

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問52 猫の慢性腎臓病に対する食事療法として適切でないのはどれか。

1. タンパク質の制限
2. リンの補給
3. 抗酸化剤やオメガ3脂肪酸の添加
4. ナトリウムの制限
5. カリウムの添加

問53 犬のブルセラ症に関する記述として適当でないのはどれか。

1. 経口、経膈、経粘膜感染する。
2. 流産の原因となる。
3. 人獣共通感染症である。
4. 抗生物質による根治的治療は困難である。
5. 予防にワクチンを使用している。

問54 牛の多発性肝膿瘍発生と最も関連の深い疾患はどれか。

1. 食道梗塞
2. 第一胃炎
3. 第四胃変位
4. 第四胃食滞
5. 第四胃捻転

問55 ビタミンD欠乏により子牛に生じる疾患はどれか。

1. 夜盲症
2. 眼球乾燥症
3. 骨軟症
4. 白筋症
5. くる病

問56 牛の尿細管形成不全症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 主としてホルスタイン種に発生する。
- b 常染色体優性遺伝による遺伝病である。
- c 出生直後から腎不全と診断されることが多い。
- d 過長蹄がみられることが多い。
- e キャリア牛同士の交配を避けることが予防法である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問57 牛のケトーシス治療薬として用いられるのはどれか。

- a キシリトール
- b プロピレングリコール
- c フロセミド
- d 高張食塩液
- e ボログルコン酸カルシウム

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問58 膀胱二重造影に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 空気とヨード系造影剤が併用されることが多い。
2. 陽性造影剤は通常静脈から投与する。
3. 膀胱粘膜の評価に適している。
4. 結石の評価に適している。
5. 気体塞栓に注意が必要である。

問59 犬の単純 X 線側方像で下行結腸が腹側に変位していた。原因として考えられるのはどれか。

1. 肝腫大
2. 脾腫
3. 子宮蓄膿症
4. 内腸骨リンパ節腫大
5. 膀胱拡張

問60 犬の甲状腺腫瘍に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 通常、甲状腺機能亢進症を伴う。
2. 診断例の大部分は悪性である。
3. 局所リンパ節と肺に最も転移しやすい。
4. 重度出血の可能性があるので経皮的コア生検は推奨されない。
5. 腫瘍の可動性の評価は手術適応や予後の判断に有用である。

問61 犬の第三眼瞼腺脱出に関する記述として適切なのはどれか。

- a 通常、老齢犬で認められる。
- b 好発犬種が存在する。
- c 放置すると慢性結膜炎が生じやすい。
- d 腫瘍が原因であることが多い。
- e 治療の第一選択は突出した第三眼瞼腺の切除である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問62 会陰ヘルニアの術後に発生の多い合併症として適切でないのはどれか。

- 1. 腸重積
- 2. 術創感染
- 3. 便失禁
- 4. 直腸脱
- 5. 尿失禁

問63 犬の乳び胸水の性状として適切なのはどれか。

- a 血清よりコレステロール値が高い。
- b 血清よりトリグリセリド値が高い。
- c 脂肪染色検査が陽性である。
- d エーテル添加により凝固する。
- e 総タンパク濃度が1.5 g/dl未満である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問64 固定目的のラグスクリューの使用が適切でないのはどれか。

1. 長管骨横骨折
2. 上腕骨外側顆骨折
3. 仙腸関節の離断
4. 大腿骨骨頸部骨折
5. 肩甲骨関節上結節の剥離骨折（大型犬）

問65 犬の離断性骨軟骨症（離断性骨軟骨炎）に関する記述として適切なのはどれか。

- a 小型犬に発生が多い。
- b 多発しやすい解剖学的部位が存在する。
- c 軟骨内骨化異常である。
- d 症状は1～2歳齢頃に発現することが多い。
- e X線検査は診断的有用性が低い。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問66 変形性関節症に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 肥満は発症・進行の主要因子の1つである。
2. 外傷や関節疾患に引き続き生じることがある。
3. 軟骨の変性は可逆的である。
4. 関節周縁の骨に骨棘が認められる。
5. 起立時や運動開始時に症状が強く出やすい。

問67 脊髄造影検査に関する記述として適切なのはどれか。

- a 造影にはイオン性ヨード造影剤が使用される。
- b 造影剤は硬膜外腔に注入する。
- c 腰椎穿刺では脊髄針の先端は脊髄を貫通し腹側まで進める。
- d ストレス脊髄造影検査は頸椎不安定症（頸椎脊髄症）の診断に有用である。
- e 硬膜内腫瘍と硬膜外腫瘍の区別はできない。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問68 局所・領域麻酔法と適応となる手術部位の組合せとして適切でないのはどれか。

- | 麻酔法 | 部位 |
|------------------|-----------|
| 1. 硬膜外麻酔（腰仙椎間穿刺） | ——— 会陰 |
| 2. 大腿神経、坐骨神経ブロック | ——— 膝関節 |
| 3. オトガイ神経ブロック | ——— 下顎骨尾側 |
| 4. 肋間神経ブロック | ——— 胸壁 |
| 5. 腕神経叢ブロック | ——— 肘関節 |

問69 牛のアクチノバチルス症に関する記述として正しいのはどれか。

- a 経過は急性である。
- b 病原体は口腔から上部消化管の正常細菌叢である。
- c 軟部組織に肉芽腫が形成される。
- d 病変部の病理組織検査で好酸性封入体がみられる。
- e サルファ剤が有効である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問70 牛の食道梗塞に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 根菜類の摂食が原因になる。
2. 食道上部の梗塞では用手摘除を試みる。
3. 流涎は主症状の1つである。
4. 急性鼓脹症を継発する。
5. 食道切開術は禁忌である。

問71 牛の腔囊腫（腔囊胞）に関する記述として適切でないのはどれか。

1. 中腎管の遺残物である管に分泌液が貯留したものである。
2. 囊胞がクルミから小児頭大となって腔壁から膨隆することがある。
3. 腔の腹側粘膜下にみられる。
4. 交尾の障害となる場合がある。
5. 外科的切開は感染を起こすため禁忌である。

問72 牛の子宮粘液症に関する記述として適切なのはどれか。

- a 黄体遺残を継発することがある。
- b 子宮壁は肥厚する。
- c 大腸菌の感染が主な原因である。
- d 子宮内腔のエコー検査では高エコー性の領域が描出される。
- e 治癒しても再発することが多い。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問73 牛の嚢腫様黄体に関する記述として正しいのはどれか。

1. 大型の卵胞が排卵せずに黄体化したものである。
2. プロジェステロン分泌能はない。
3. 直腸検査において嚢腫卵胞と類似した所見を呈することがある。
4. 黄体遺残に移行するものが多い。
5. 黄体内の内容液を吸引すると黄体は退行する。

問74 牛の正常分娩および難産に関する記述として正しいのはどれか。

- a 正常頭位では、陰門外に出た胎子の肢端の蹄底は上向きである。
- b 胎子の推退には、可能な限り産科挺等の器具を用いる。
- c 胎子の失位を整復する際は、まず胎子を骨盤腔内に引き寄せて整復する。
- d 母牛の努責が強い場合、尾椎硬膜外麻酔が効果的である。
- e 母牛を横臥させる場合は右側を下にすると胎子を牽引摘出しやすい。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問75 発生工学技術に関する記述として誤っているのはどれか。

1. キメラ胚の作出には凝集法と注入法がある。
2. 顕微授精法に用いる精子は運動能をもつ必要がある。
3. ES細胞は多分化能をもつ。
4. トランスジェニック動物ではゲノムに導入遺伝子が挿入されている。
5. 胚移植用雌マウスには交尾あるいはそれに相当する刺激が必要である。

問76 実験動物にストレプトゾトシン（STZ）を投与することによって作出できるモデル疾患はどれか。

1. 脳梗塞
2. 糖尿病
3. 関節炎
4. 腎不全
5. 骨粗鬆症

問77 我が国でワクチンが承認されている疾患はどれか。

- a コイヘルペスウイルス病
- b マダアイリドウイルス病
- c アユのビブリオ病
- d ニジマスの伝染性造血器壊死症
- e ウナギのパラコロ病

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問78 我が国の養殖ブリで発生が確認されている疾患はどれか。

- a 連鎖球菌症
- b 類結節症
- c レッドマウス病
- d カラムナリス病
- e 細菌性腎臓病

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問79 トラフグのヘテロボツリウム症の病原体に関する記述として適切なのはどれか。

1. 主な寄生部位は腎臓である。
2. 病原体は条虫類に分類される。
3. 生活環に中間宿主が必要である。
4. 虫体は微小なため肉眼で確認できない。
5. フェバンテル製剤が駆虫薬として用いられる。

問80 病原体が1本鎖RNAウイルスである疾患はどれか。

1. リンホシスチス症
2. コイの上皮腫
3. ニジマスのウイルス性出血性敗血症
4. サケ科魚類の伝染性腭臓壊死症
5. ブリのウイルス性腹水症

